日本語のきまり

大河内健詞

［配役］
教師　　予備校の名物教師
生徒１　　声が高いロボット（男）。人間になりたい。
生徒２　　あごがはずれた人。話す時以外ずっと口が開いている。

＜番組のオープニング曲＞
教師　　みなさんこんにちは。「日本語のきまり」今回の放送は、前回に引き続き、日本語の品詞です。前回、品詞は自立語と付属語に分けられ、さらに活用するものとしないものがあることを学びましたね。それでは前回の復習です。自立語で、活用する品詞には何がありますか？
生徒１　ハイ。
教師　　ロボ太くん早かった。
生徒１　ドーシとケーヨウシです。
教師　　正解です！たとえば動詞にはこんなものがあります。みんな読めるかな？

＜映像＞「嵌める」
生徒　　ハメル。
＜映像＞「強請る」
生徒　　ユスル。
＜映像＞「毟り取る」
生徒　　ムシリトル。

教師　　完璧です！では次に、活用しない品詞を学びますよ。

＜映像＞「名詞」「連体詞」「副詞」「接続詞」「感動詞」

教師　　いっぱいありますね！それぞれ例を出しますよ！

＜映像＞
「名詞」・・・　人間　郷ひろみ
「連体詞」・・・　たいがいに　ファッキン
「副詞」・・・　どうせ
「接続詞」・・・　話かわるけど
「感動詞」・・・　ファッキン

教師　　これらはほんの一例ですが、同じ言葉が何度も出ていますね。

たとえば、「ファッキン」は連体詞でありながら、感動詞でもあります。
それでは会話例を聞きながら、どの品詞なのか考えましょう。

生徒１　人間になりたいなあ
生徒２　どうせ無理じゃ
生徒１　話変わるけど、好きです
生徒２　ファッキン
生徒１　毎朝フルーツを食べれば、郷ひろみになれるかな
生徒２　たいがいにせえ。牛の糞にも段々があるんじゃ

教師　「人間」は名詞、「なりたい」は動詞「なる」の活用ですね。
「どうせ」は副詞。「話かわるけど」は接続詞、
この「ファッキン」は単体で文節となるため、感動詞です。
「郷ひろみ」は 57 歳。バーニングプロダクション所属。
毎朝フルーツを食べることで、アンチエイジングにいそしんでいます。名詞です。
「牛の糞にも段々がある」は広島やくざ用語で、「すべての物事には順番がある」
という意味です。何か質問はありますか？

＜教師が説明している間、生徒らは落ち着きがない＞
＜生徒２がいつの間にかハケる。＞

生徒１　どっかいっちゃったよー
教師　はい。それでは今日のまとめです。

＜映像＞「ローラは悪くない」

教師　それではまたお会いしましょう。さようならー。
＜番組の終了曲＞